

平成30年度

事業報告書

自 平成30年 1月 1日

至 平成30年12月31日

公益財団法人 馬事文化財団

目 次

I 根岸競馬記念公苑における事業	1
1 馬の博物館の事業	1
(1) 特別展示等	1
(2) テーマ展	2
(3) 常設展示	3
(4) 馬事博物資料等の調査・研究	3
(5) 馬事博物資料等に関する印刷物の編集及び刊行	3
(6) 馬事博物資料の収集	4
(7) 資料の貸出	4
(8) 資料の管理・保管	5
(9) 特別イベント	5
(10) 馬に関する講演会等	6
(11) 他館との交流	6
(12) 日本中央競馬会主催の研修への参加	7
(13) 文化庁主催の研修への参加	7
(14) 外国人観光客への対応	7
(15) その他の協力	7
2 馬展示事業	7
(1) 馬の展示	7
(2) ふれあいイベント	8
(3) 春秋特別イベント	9
(4) きゅう舎管理等	10
3 馬文化の保存	10
(1) 馬事伝統行事保存事業	10
(2) 在来馬種保存事業	10
4 施設の管理運営及び公苑の整備	11
5 入館者・入苑者	11
II JRA 競馬博物館の事業	12
1 展示及び調査・研究	12
(1) ギャラリー	12
(2) 展示室 3	13
(3) エントランスホール	13
(4) 移動展示	13

(5) 常設展示機器等	13
(6) 「馬の学び舎ミュージアム・ホール」	13
(7) 特別展示室	14
(8) 競馬博物資料等の調査・研究	14
(9) 競馬博物資料の収集	15
(10) 資料の貸出	15
(11) 資料の管理・保存	15
(12) ワークショップ等普及イベント	15
2 案内業務及び入館者	19
Ⅲ 競馬振興会館（Gate J.）の事業	20
1 Gate J. 新橋の事業	20
2 Gate J. 梅田の事業	20
3 入館者	21
Ⅳ 広報活動	21
1 馬の博物館	21
2 JRA 競馬博物館	22
3 Gate J. 新橋・梅田	22
Ⅴ JRA 賞馬事文化賞候補作品の情報収集	23
Ⅵ 寄附金・募金の受入れ及び使用状況	23
1 受入れ状況	23
2 使用状況	23
Ⅶ 庶務	23
1 評議員に関する事項	23
2 役員等に関する事項	23
(1) 役員	23
(2) 参与	24
(3) 職員及び組織図	24
3 評議員会及び理事会	24
(1) 評議員会	24
(2) 理事会	25
別添資料 寄附金・募金の受入れ状況	26

平成 30 年度 事 業 報 告

平成 30 年度においては、当財団定款第 4 条の目的を達成するため、事業計画に基づき根岸競馬記念公苑・馬の博物館をはじめとする財団各施設等において様々な事業を実施しました。

I 根岸競馬記念公苑における事業

1 馬の博物館の事業

(1) 特別展示等

春季特別展は、日本を代表するアーティストの一人、天野喜孝（1952 年～）の個展『天野喜孝展 天馬』を JRA 競馬博物館と共同開催しました。

繊細で妖艶・幻想的な絵柄で知られる天野は、キャラクターデザイン、イラスト、装幀画や舞台美術、衣装デザインなど、幅広いジャンルで多数の名作を生みだし、90 年代後半以降は、その活躍の場を、パリ、ニューヨーク等世界の各都市に広げ、多くの賞を受賞するなど国内外で高い評価を得ています。

馬の博物館の会場では、“馬、そしてペガサスなど馬から生まれた幻獣”を描いた「ウマ」をテーマとする初期作品の原画から、初挑戦となった漆喰作品など 20 点を上回る新作を含め、84 点を展示しました。大人気のゲームソフト「ファイナルファンタジー」からも“馬”などが描かれた作品を精選して展示しました。また、開催初日には当館においてグリーンチャンネル「草野仁の Gate J. + (プラス)」の公開収録を行い、天野によるトークショーと主要展示品の解説が行われました。

なお、馬の博物館・JRA 競馬博物館の初の共催を記念してスタンプカードを配布し、両館のスタンプを押した入館者には、新作のオリジナルポストカードをプレゼントし、入館者増に努めました。

秋季企画展は、『猪熊弦一郎展 馬と女性たち』を開催しました。猪熊弦一郎（1902-1993）は、初期の堅実な写実絵画から晩年の自由な抽象表現に至るまで、多彩な作品を描き続けた洋画家です。本展では、猪熊がとりわけ造形美を感じ、生涯にわたって重要なモチーフであり続けた「馬」と「女性」の絵画作品を中心に、スケッチブックや彫刻、画家が集めていた馬具や馬の置物などのコレクションなどもあわせて、計 96 点を展示しました。このほか、猪熊の画業を紹介するビデオ（「guén 猪熊弦一郎」丸亀市猪熊弦一郎現代美術館提供）を展示室で上映しました。

また、関連イベントとして、展覧会担当学芸員によるギャラリートーク（10 月 13 日、27 日、11 月 10 日、24 日）のほか、子供向け企画としてビンゴ形式のワークシート「いのくまさんのたんけんビンゴ！」の配布や、展覧会の認知度アップを目的とした「SNS キャンペーン」を実施しました。

展示期間	展示タイトル	展示場所
4. 21～6. 24	春季特別展「天野喜孝展 天馬」	第2・3展示室
10. 6～12. 2	秋季企画展「猪熊弦一郎展 馬と女性たち」	第2・3展示室

(2) テーマ展

『走る馬の展覧会』は、当館所蔵作品の中から馬が走る姿が描かれた日本の美術作品を中心に、鞍や鐙などの馬具や根岸競馬場ゆかりの資料など約30点を展示し、馬が多様な役割を担ってきたことを紹介しました。

『騎手をめぐる美術』は、当館所蔵の国内外の絵画や彫刻などに表された騎手をクローズアップし、資料解説とともに画材となった著名騎手のエピソードなどを紹介しました。

『馬の意匠－衣類編－』では、古代の錦から現代の羽織・襦袢・袋帯まで、馬が表された衣類とデザインのモデルになった絵画など30点を紹介しました。

『根付』では、当館が所蔵する根付のうち34点を展示しました。根付で表現された馬の表情や仕草、細部に至るまで施された匠の技とユーモアを紹介しました。

『馬の遊びと玩具』では、馬にまつわるおもちゃ、玩具、遊戯に焦点を当てました。「うま」は、本物に乗れない子供達のあこがれとなり、馬のり・馬とび・竹馬などの“うまごっこ”は、代役として考えられ親しまれてきました。また、「うま」は、双六、凧、カルタ、パズル、ゲームなどの題材として広く採用されてきました。本展では、200点以上の馬尽しの資料を紹介しました。

『流鏝馬と馬具』では、武田流と小笠原流の馬術書10冊を展示したほか、夏と秋にちなんだ動植物のデザインが施された鞍・鐙などの古式馬具14点を夏と秋の2回に分けて展示しました。

『馬頭観音像～道端の守り神の魅力～』では、江戸時代以降街道筋に造立された石仏の馬頭観音に魅せられた栗田直次郎の写真展を開催しました。紹介している約70点の写真は、様々なタイプの馬頭観音が被写体となっており、来館者が興味深く鑑賞できるような展示を行いました。

『競馬レトロポスター展－地方競馬・西日本編－』では、西日本地域の14場のほか、地元の神奈川県において1950年（昭和25）に制作された地方競馬ポスターを中心に展示しました。これらのポスターは、競馬場の存在と開催日を広く告知することを目的に制作されましたが、デザイン的にも優れており当時の関係者の熱意が垣間みえる展示となりました。

[第2展示室]

	展示期間	展示タイトル
1	H29. 12. 9～H30. 2. 18	走る馬の展覧会
2	2. 22～4. 15	馬の意匠－衣類編－
3	6. 30～9. 30	馬の遊びと玩具
4	12. 8～H31. 2. 11	馬頭観音像～道端の守り神の魅力～

[第3展示室]

	展示期間	展示タイトル
1	H29. 12. 9～H30. 2. 18	騎手をめぐる美術
2	2. 22～4. 15	根付
3	6. 30～9. 30	流鏝馬と馬具
4	12. 8～H31. 2. 11	競馬レトロポスター展 ー地方競馬・西日本編ー

(3) 常設展示

	展示場所	展示物
1	第1展示室	根岸競馬の歴史・皇室と競馬等
2	第2展示室	曲がり家・明治天皇御料馬車
3	第4展示室	ウマの進化・馬と人との関わり

(4) 馬事博物資料等の調査・研究

2020年度開催の春季特別展「山口華楊展（仮称）」開催検討のため、京都市学校歴史博物館等において調査を行いました。

(5) 馬事博物資料等に関する印刷物の編集及び刊行

	種類	印刷物
1	図録	天野喜孝展 天馬
2	図録	猪熊弦一郎展 馬と女性たち
3	紀要	馬の博物館研究紀要 第21号
4	小冊子	ワークブック（馬の進化と特徴）

(6) 馬事博物資料の収集

一般財団法人日本中央競馬会弘済会から助成を受け、馬事博物資料の購入を行いました。

① 購入した資料（1点 20万円以上）

	資料名	
1	聖徳太子絵伝	1幅
2	馬揃え絵巻	1巻
3	横尾忠則作 予兆の刻Ⅳ	1点
4	横尾忠則作 神格の象徴	1点
5	横尾忠則作 鎮守氷川神社	1点
6	野馬群遊蒔絵硯箱	1合
7	壺鐙	片双
8	加藤清正書状	1点
9	徳川秀忠書状	1点
10	織田信雄書状	1点

② 寄贈を受けた資料

	資料名	
1	鎬矢（現代） 1本	
2	平成28・30年水沢、平成29年盛岡競馬予想紙・勝馬投票券等関係資料	
3	馬にかかわる意匠の古裂 <small>こぎれ</small> （昭和初期） 計5件	
4	チェス盤と駒、チェス駒（キルギス製）2種	
5	チラシ「馬術技藝競番付」（明治初年）等 5件	

(7) 資料の貸出

	貸出資料名	貸出先	貸出期間
1	平家物語図屏風 6曲1双	埼玉県立嵐山史跡の博物館	H29.11.22 ～H30.3.9
2	歌川芳鶴《三浦畠山衣笠合戦之図》ほか 計3件	横須賀美術館	4.7～6.23
3	保元合戦図屏風 6曲1隻 ほか 計8件	栃木県立博物館	10.10～ 12.14
4	馬形飾付冑ほか 計22件	岡山市オリエント美術館 古代オリエント博物館	6.30～ 12.12
5	鉄道馬車模型ほか 計2件	板橋区立郷土資料館	9.21～ 12.15

(8) 資料の管理・保管

- ① 新規の図書・写真・博物資料を資料管理情報システムに入力しました。
- ② 害虫の生息状況を調査（8月21日～9月4日）の上、収蔵庫の燻蒸消毒及び展示室等の床面消毒を実施しました。（9月9日及び10日）
- ③ 所蔵資料の保存環境向上のため、第1収蔵庫の収納棚の一部をスチール棚から木製棚に入れ替えました。
- ④ 第2展示室内エアタイトケースの展示空間環境の調査を実施の上、空気清浄機を設置するなどの措置を講じ、一定の改善効果を得ることができました。

(9) 特別イベント

- ① サクラウィーク in 馬の博物館（3月17日～4月8日）
春休み期間中にファミリー向けの企画として以下の催しを行いました。
 - ・スタンプラリー（3月24日～4月8日）
 - ・ワークショップ「レジンで馬のストラップをつくろう！」
（3月25日、3月31日）
 - ・オリジナルポストカードプレゼント（先着1,000名）
- ② 夏休み企画（7月21日～8月26日）
夏休み期間中のお子様向け企画として以下の催しを行いました。
 - ・みんな大好き！カプセルトイでオリジナルの切り紙をゲットしよう
（7月22日～8月26日 期間中の土曜日を除く。）
 - ・ポニーセンターの馬をえがいてみよう（7月26日）
 - ・夏休み自由研究相談「馬について学ぼう」（7月29日）
 - ・馬にちなんだ立版古（たてばんこ）を作ろう（8月4日・5日）
 - ・学芸員と一緒にワークブックで馬について調べよう
（8月11日・18日・25日）
 - ・懐かしい紙芝居&折り紙の馬作りを体験しよう」（8月12日、相模原市立博物館市民学芸員（ボランティア）紙芝居クラブ協力）
- ③ クリスマス企画（12月15日・16日）
未来の競走馬を応援するワークショップのほか、クリスマスメドレーを中心としたクラシック音楽のミニコンサートを、家族向けの企画として実施しました。
 - ・ワークショップ「未来のスターホースに願いを込めて～もくしでつながりプロジェクト」（12月15日、Pacalla（パカラ）協力）
 - ・ミュージアムコンサート in 馬の博物館（12月16日、主催 クラシック・ヨコハマ2018、出演 横浜市民広間演奏会）

(10) 馬に関する講演会等

① 講演

NPO 法人横浜シティガイド協会（講座名「近代競馬の黎明・根岸競馬場」）の依頼により馬事・競馬文化を普及・啓発する講義を横浜市中区の象の鼻テラスにて実施しました。（5月17日）

韓国の「馬事高校」という馬に特化した高校の日本研修の一環として「馬の進化・特徴と日本の馬・競馬産業」というテーマの講義を館内にて実施しました。（7月26日）

公益財団法人いきいき埼玉と埼玉県浦和競馬組合共催の「馬事文化と競馬の楽しみ」のカリキュラムとして埼玉県県民活動総合センターと馬の博物館において、「日本における馬の歴史と文化」と題する講義を実施しました。（11月6日）

また、東京農業大学、日本獣医生命科学大学、龍谷大学、武蔵野美術大学、国際動物専門学校、日本ペット&アニマル専門学校等動物系専門学校、日本平動物園ガイドボランティアなどの校外学習の受け入れに積極的に応じ、各々の専門分野に合わせた説明、案内に努めました。

② 学芸員課程学生の博物館実習（7月28日～8月10日）

東海大学・桜美林大学・明治学院大学・明治大学・清泉女子大学・駒澤大学・日本大学・多摩美術大学・目白大学より9名の実習生を受け入れました。

(11) 他館との交流

「平成30年度神奈川県博物館協会第2回研修会」が馬の博物館において開催され、県内の加盟館から48名が参加しました。施設見学や乗馬体験のほか、写真家の中村淳氏を講師に「“みせる”写真を撮る方法 in 馬博」をテーマに、実演による写真研修と情報交換が行われました。（7月11日）

NPO 法人引退馬協会、同法人歴史的建造物とまちづくりの会、公益社団法人日本建築家協会 関東甲信越支部神奈川地域会共催の「J.H. モーガンを語るシンポジウム&コンサート」が馬の博物館イベントホールで行われ、演者の一人である水沼淑子関東学院大学教授の講義にデータ画像を提供しました。（10月6日）

大佛次郎記念館主催の「I Love スポーツ。大佛次郎 山手&根岸ウォーキング」イベントにおいて、馬の博物館が組み込まれ、参加者に根岸競馬の歴史に関する解説を行いました。（10月14日）

一般財団法人横浜市交通局協力会が運営する市電保存館で新たに展示パネルを制作するにあたり、横浜競馬に関する画像提供とパネルの内容校正・アドバイスをを行いました。

兵庫県の学校法人武庫川学院では、1935年（昭和10）に建築された旧鳴尾競馬場の一等馬見所を戦後継承し、内部を復元し保存活用していますが、建物の完成当時の様子を示すための常設パネルの制作に当たり、当財団所蔵の写真画像の提供やパネルレイアウト等の指導を行いました。

株式会社中央競馬ピーアール・センターが『福島競馬場 100 周年史』を制作するに際して、情報提供並びに所蔵資料の画像提供を行いました。

博物館事業の充実を図るため、日本博物館協会、全国美術館会議、神奈川県博物館協会等が開催する会議、研究会、専門部会に参加しました。

また、各地の博物館・美術館、教育機関との交流を通じて資料の相互活用及び情報交換を行いました。

(12) 日本中央競馬会主催の研修への参加

関係団体若手プロパー職員研修（4月28日）及び関係団体プロパー職員研修（9月6日・9日）にそれぞれ参加しました。

(13) 文化庁主催の研修への参加

国宝・重要文化財（美術工芸品）防災・防犯対策研修会に参加しました。（6月21日）

(14) 外国人観光客への対応

苑内の案内看板を多言語化し、外国人観光客の受け入れ態勢を整えました。また、中国国営の旅行社と連携して中国人観光客を誘致できるよう引き続き協議を継続しております。

(15) その他の協力

横浜市体育協会主催による「よこはまシティウォーク」（3月21日）及び横浜市南区役所等主催「南の丘 トレイルウォーキング」（11月3日）のチェックポイントを馬の博物館内に設置し、イベントに協力しました。

2 馬展示事業

(1) 馬の展示

博物館事業の一環として行う実馬展示については、多品種の馬を繋養し、馬場・芝生広場での放牧や騎乗等のほか、日常の飼養管理の様子を紹介し、馬の行動を観察できる環境を維持しました。また、展示馬については、現在11頭の展示馬を繋養しています。

展示馬一覽表

	馬名	品種	毛色	生年	年齢	性別	産地	体高	入退厩日
1	ペルニー	中半血	茶斑	1998年 推定	20	セン	不詳	102cm	2008. 4. 25 函館競馬場より受贈
2	ミカン	野間馬	栗毛	2010年 5月	8	セン	今治市	100cm	2013. 2. 15 野間馬保存会より借受
3	ゆき	北海道和種	河原毛	2011年 4月	7	牝	函館市	127cm	2013. 11. 17 購入
4	ホワイト ミニ	ミニチュアホース	駁栗	1998年 4月	20	セン	音更町	85cm	2013. 12. 11 競馬学校より受贈
5	マイネル キッツ	サラブレッド	栗毛	2003年 3月	15	セン	新冠町	164cm	2013. 12. 11 サラブレッドクラブ ラ・フィアンより受贈
6	シザーZ	Zangersheide	鹿毛	2005年 6月	13	セン	オランダ	168cm	2014. 9. 11 競馬学校より受贈
7	マイネル ネオス	サラブレッド	鹿毛	2003年 3月	15	セン	新冠町	160cm	2014. 11. 6 サラブレッドクラブ ラ・フィアンより受贈
8	サンゴ	与那国馬	鹿毛	2014年 3月	4	セン	与那国島	117cm	2016. 3. 8 購入
9	スカニア	ハフリンガー	尾花栗毛	1994年 5月	24	牝	標茶町	145cm	2016. 5. 19 美浦 TC より受贈
10	ゴーチェ	ベルギー温血種	黒鹿毛	2006年 4月	12	セン	ベルギー	166cm	2017. 9. 7 競馬学校より受贈
11	ヴァオド ウー	ベルギー温血種	芦毛	1998年 6月	20	セン	ベルギー	175cm	2017. 12. 6 栗東 TC より受贈

(2) ふれあいイベント

展示馬を活用し、馬についての関心や、馬に関する知識を高めるとともに、愛馬心と動物愛護の精神を涵養することを目的に、以下のイベント等を実施しました。

① 馬の博物館の入館者を対象とした体験乗馬等

毎月第1日曜日と第3日曜日（1・2・5・8・11月は第3日曜日のみ実施）に、馬の博物館入館者を対象とした乗馬デー（体験乗馬及び馬車の試乗会）を開催しました。また、3月・4月の「サクラウィーク」では馬事イベントを一層充実させました。このほか、馬の試乗会（4月22日、11月25日）や苑内で散歩するポニーと触れ合っていただく「てくてくさんぽ」等を随時実施しました。

② にんじんタイム

毎週土曜日に、お客様に馬に親しんでいただくため、にんじんを与え、馬に触れることのできる機会を提供しました。

③ 体験学習講座

小学校高学年児童を対象に、馬に関する基礎知識の学習や馬房の清掃、体験乗馬、馬の手入れ等を行う「一日愛馬教室」を秋季に開催しました。（9月9日・23日）

④ その他の協力

来苑した幼稚園・小学校等からの要請に応じて、馬について説明したほか、にんじんを与え、馬に触れ合うことのできる体験の場を提供しました。

また、学校教育機関と連携し、生徒の職業体験学習を受け入れるとともに展示馬の学校訪問により馬の理解促進に努めました。

(職業体験学習) 横浜市立万騎が原中学校(2年)5名 1月24日

横浜市立岡村中学校(2年)5名 2月1日

横浜市立根岸中学校(2年)4名 2月2日

(学校訪問) 鎌倉市立第一小学校(2年3クラス) 2月7日

その他、在来馬等の展示馬を活用し、JRA や外部団体等のイベントへの協力を行いました。

- ・東京 2020・900 日前イベントへの協力
2月11日・12日(主催:東京都世田谷区)
- ・米海軍池子フレンドシップデーへの協力
4月28日(主催:米海軍横須賀基地池子支所)
- ・JRA ウインズ横浜への協力
4月29日(主催:JRA ウインズ横浜)
10月28日(主催:JRA ウインズ横浜)
- ・JRA 馬事公苑への協力
5月3日(主催:JRA 馬事公苑)
- ・JRA ウインズ新横浜への協力
6月16日(主催:JRA ウインズ新横浜)
- ・馬車道まつりにおける馬と親しむイベントへの協力
11月3日(主催:馬車道商店街協同組合)
- ・動物感謝デーへの協力
12月1日(主催:公益社団法人日本獣医師会)

(3) 春秋特別イベント

春季はゴールデンウィーク期間中の5月5日“こどもの日”に『馬とあそぼうこどもの日』を開催しました。JRA 東京競馬場の協力による「トリックホースショー」の披露、体験乗馬や馬車の試乗会、隣接する根岸森林公園での在来馬とのふれあいイベントに加え、横山剣&スモーキー・テツニによるDJショー、聖光学院吹奏楽部のコンサート及びJR 東日本根岸駅や在来馬の故郷である沖縄県、長野県木曾町役場とのコラボレーションイベント等を行いました。

秋季は、11月11日に『馬とのつどい2018』を開催し、大日本弓馬会による伝統馬事芸能「流鏝馬・笠懸」の披露のほか、クラシック・ヨコハマによるコンサート等、横浜市やJR 東日本横浜支社、横浜市電保存館、横浜F・マリノスなどとのコラボレーションイベントを中心に、充実した内容で実施しました。

実施日	催物（集客）	内容
5.5	馬とあそぼう こどもの日 (来場者 11,500 人・対前年比 107.5%)	トリックホースショー(協力：JRA 東京競馬場)、横山剣 DJ ショー、聖光学院吹奏楽部コンサート、蹄鉄作りの実演(協力：JRA 競馬学校)、馬のゆるキャラ(「ターフィー」・「木曾っ子」・「みきゃん」)の紹介および記念撮影会、在来馬のふるさと物産展(協力：沖縄県・長野県木曾町役場)、JR 東日本「根岸駅」による駅員体験イベント、春季特別展「天野喜孝展 天馬」ぬり絵コーナー、馬・馬車の試乗会、マイネルキッツ号・マイネルネオス号の蹄鉄プレゼント抽選会、在来馬とのふれあいイベント 他
11.11	馬とのつどい 2018 (来場者 9,500 人・対前年比 137.7%)	大日本弓馬会による流鏝馬・笠懸、蹄鉄作りの実演(協力：JRA 競馬学校)、マジックショー、お笑いバトル、JR 東日本横浜支社によるミニ電車の体験乗車、市電保存館による市電シミュレーター、馬のゆるキャラ(「ターフィー」・「みきゃん」)の紹介および記念撮影会、在来馬のふるさと物産展(協力：沖縄県)、クラシック・ヨコハマコンサート、企画展「猪熊弦一郎展 馬と女性たち」ぬり絵で楽しむ！いのくまさん、馬・馬車の試乗会、マイネルキッツ号・マイネルネオス号の蹄鉄プレゼント抽選会、在来馬とのふれあいイベント 他

(4) きゅう舎管理等

展示馬の健康管理については体温・行動等に常に留意し、また、伝染病予防接種等の防疫管理、きゅう舎の定期消毒・害虫駆除等の衛生管理を行い、お客様への快適な展示環境の提供に努めました。

3 馬文化の保存

(1) 馬事伝統行事保存事業

わが国に古くから伝わる馬に係わる伝統行事の保存及び振興を図るため、馬事伝統行事を行う 44 団体に対して助成金を交付しました。

(2) 在来馬種保存事業

わが国に現存する 8 種類の在来馬種の保存活動を行う団体に対し、公益社団法人日本馬事協会を通じて助成金を交付しました。

また、平成 30 年度においては Gate J. 出張イベントとして、全国の主要競馬場等において「在来馬保護チャリティーイベント」を 8 回実施しました。

4 施設の管理運営及び公苑の整備

草花の植栽や樹木の剪定等を計画的に行い公苑の整備と美化に努めたほか、苑内の案内看板及びベンチの更新等を行いました。また、公苑内の警備や建物の総合管理業務等は各業者に委託し実施しました。

5 入館者・入苑者

区分	馬の博物館						根岸競馬記念公苑		
	開館 日数	入館者数					開苑 日数	入苑者数 (概数)	1日 平均
		大人	小人	団体	合計	1日 平均			
1月	24日	728	257	210	1,195	50	24日	14,152	590
2月	21日	1,004	330	86	1,420	68	25日	20,880	835
3月	29日	2,248	578	1,207	4,033	139	29日	50,220	1,732
4月	23日	1,737	537	450	2,724	118	27日	34,280	1,270
5月	27日	3,663	1,527	971	6,161	228	27日	36,120	1,338
6月	22日	1,191	285	155	1,631	74	26日	18,300	704
7月	27日	609	184	182	975	36	27日	8,830	327
8月	27日	944	382	124	1,450	54	27日	10,620	393
9月	23日	952	295	476	1,723	62	28日	16,430	587
10月	23日	1,035	294	550	1,879	82	27日	22,340	827
11月	26日	3,340	1,355	436	5,131	197	26日	26,190	1,007
12月	15日	638	145	15	798	53	24日	11,490	479
30年計	287日	18,089	6,169	4,862	29,120	101	317日	269,852	851
29年計	288日	20,489	6,469	6,688	33,646	117	313日	315,497	1,008
前年比 (%)	99.7	88.2	95.4	72.7	86.5	86.3	101.3	85.5	84.4

*1日最高入館者数 3,509人 5月5日

*1日最高入苑者数(概数) 11,500人 5月5日

☆(参考)27年の入館者合計 26,734人(27年比108.9%)

☆(参考)27年の入苑者合計 284,145人(27年比95.0%)

*教育団体等の見学者数

保育園	幼稚園	児童団体	小学校	中学校	高校 大学	特別支援 学校	一般団体	競馬関係
467	124	251	1,334	37	344	38	2,325	40

II JRA 競馬博物館の事業

1 展示及び調査・研究

4月21日のリニューアルオープンに合わせ、企画展『セントライト生誕80周年 小岩井農場の歴史』をギャラリーにて開催しました。日本競馬史上初の三冠馬に輝いたセントライトが小岩井農場で生まれて生誕80周年を迎えることからセントライトの功績を振り返るとともに、小岩井農場の歴史を紹介しました。また、リニューアル記念『英国ダービー展』を新装なった展示室3で開催し、本年度で239回を迎えた英国ダービーの歴史を当館所蔵資料とともに紹介しました。

春季には春季特別展『天野喜孝展 天馬』を展示室3にて開催しました。日本を代表するアーティストの1人であり、半世紀以上にわたる活動の中で幅広いジャンルで多数の名作を生み出した天野喜孝の作品の中から「ウマやウマから派生した幻獣」をテーマに紹介しました。

夏季には、武蔵野美術大学と共催し『UMARTs2018 うまからうまれるアート展』として、同大学の卒業生等が制作した馬をモチーフとした美術作品を展示しました。

秋季には、秋季特別展『メジロ牧場の歴史～“白と緑”の蹄跡～』をギャラリー・エントランスホール及び展示室2・3にて開催しました。同展は、日本競馬史において数々の偉業（天皇賞7勝・グランプリレース5勝など）を成し遂げた名門メジロ牧場の歴史を同牧場の名馬たちを支えた人々へのインタビュー等を交え紹介しました。

また、馬の学び舎ミュージアム・ホール及びエントランスホールでは特別展『祝・武豊騎手 JRA 通算4000勝達成ーこれまでも これからも 騎手・武豊ー』を開催しました。中央競馬のトップランナーとして国内・海外を問わず第一線で活躍を続け、前人未到のJRA通算4000勝を達成した武豊騎手のこれまでの軌跡を、栄光を彩る資料や映像、本展のために作製した4000勝全ての服色を施した特製スカーフなどを交え紹介しました。

(1) ギャラリー

	展示期間	展示タイトル
1	4.21～6.24	セントライト生誕80周年 小岩井農場の歴史
2	10.6～H31.2.17	秋季特別展 「～メジロ牧場の歴史～“白と緑”の蹄跡～」

(2) 展示室 3

	展示期間	展示タイトル
1	4. 21～5. 6 6. 30～7. 29	英国ダービー展
2	5. 12～6. 24	春季特別展「天野喜孝展 天馬」
3	8. 1～9. 1	UMARTs2018 うまからうまれるアート展
4	10. 6～H. 31. 2. 17	秋季特別展 「メジロ牧場の歴史～“白と緑”の蹄跡～」

(3) エントランスホール

	展示期間	展示タイトル
1	4. 21～6. 3	2018 年度新人騎手紹介展
2	6. 9～7. 29	第 85 回日本ダービー優勝馬展
3	10. 6～H. 31. 2. 17	秋季特別展 「メジロ牧場の歴史～“白と緑”の蹄跡～」
4	10. 13～12. 9	特別展 祝・武豊騎手 JRA 通算 4000 勝達成 — これまでも これからも 騎手・武豊 —
5	12. 15～H31. 1. 27	第 38 回ジャパンカップ優勝馬展

(4) 移動展示

	展示期間	展示タイトル	展示場所
1	2. 24～ 5. 13	前略ディー・インパクト様 ～関係者から DEEP への手紙～	阪神競馬場メディア ストリート

(5) 常設展示機器等

平成 29 年 11 月末からの改修工事に伴い、レーシングシミュレーション、ライディングビジョン、視界のコーナー、騎手のコーナー、アラウンド・ザ・ワールドなど従来の常設展示機器を撤去し、新たにライヴシアター、なりきりジョッキー、東京競馬場歴史絵巻などの機器やウォールケース等を新設したほか、展示パネルを更新しました。また、空調システムを入れ替え、照明も LED に変更、施設全般を大規模にリニューアルしました。

(6) 「馬の学び舎ミュージアム・ホール」

展示・映像・常設展示の各コーナーで構成しており、展示コーナーでは博物資料の展示と解説パネルの設置、映像コーナーでは 150 インチ中型映像装置で平成 28 年度に制作した“アニメ「馬物語」”(3 本) や馬事文化紹介映像を上映し、常設展示コーナーでは等身大の馬像(ばん馬・サラブレッド・日本在来馬)を展示しました。また、特定日にはイベントを開催するなど多目的に活用しました。

〈馬の学び舎 馬事文化紹介映像上映一覧〉

	作品区分	タイトル		作品区分	タイトル
1	馬の祭	加賀美流騎馬打毬	7	馬の祭	幻の琉球競馬 (前編)
2	〃	相馬野馬追	8	〃	幻の琉球競馬 (後編)
3	〃	上賀茂神社 賀茂競馬	9	アニメ 馬物語	走れ！ドンタ
4	〃	菊間祭り	10	〃	博物館は大騒ぎ
5	〃	八代妙見祭	11	〃	頑固馬 ミカゲじいさん
6	〃	出水神社 武田流流鏑馬			

当館の認知度向上・来場促進及び多目的機能の積極的な活用を目的として、第2回東京競馬開催では東京競馬場主催イベント「タカラッシュ」に協力しました。なお、10月13日から12月9日までは特別展『祝・武豊騎手 JRA 通算 4000 勝達成—これまでも これからも 騎手・武豊—』のメイン会場として利用しました。

(7) 特別展示室

日本中央競馬会主催で「馬たちのセカンドライフ」を開催し、引退競走馬のセカンドライフを支える各団体の活動や引退競走馬の様子について紹介しました。(10月8日)

(8) 競馬博物資料等の調査・研究

秋季特別展『メジロ牧場の歴史～“白と緑”の蹄跡～』、特別展『祝・武豊騎手 JRA 通算 4000 勝達成—これまでも これからも 騎手・武豊—』、の開催のためレイクヴィラファーム、社台スタリオンステーション、ビッグレッドファーム、鍋掛牧場及びアトリエモモにおいて調査を行いました。

(9) 競馬博物資料の収集

① 寄贈を受けた主な資料

	資料名
1	ワグネリアン号馬主服（第 85 回日本ダービー優勝時着用） 1 点
2	福永祐一騎手使用鞭（第 85 回日本ダービー優勝時使用） 1 点
3	第 8 回東京優駿優勝馬主賞賞状 1 点
4	第 10 回東京優駿優勝馬主賞賞状 1 点
5	古呼馬特殊ハンデキャップ優勝馬主賞賞状 1 点
6	アーモンドアイ号馬主服（第 38 回ジャパンカップ優勝時着用） 1 点
7	C.ルメール騎手使用鞭（第 38 回ジャパンカップ優勝時使用） 1 点
8	今井寿恵『夢を駆ける トウカイテイオー』ほか競馬関係書籍 9 冊
9	マーベラスクラウン JC 優勝記念ブルゾン 1 点
10	マーベラスクラウン JC 優勝記念品（ライター） 1 点
11	テンポイント号馬着（昭和 52 年年度代表馬） 1 点

② 購入した資料（1 点 20 万円以上）

	資料名
1	ニンバス号（1949 年英ダービー優勝馬）着色写真
2	ガルカドール号（1950 年英ダービー優勝馬）着色写真

(10) 資料の貸出

	貸出資料名	貸出先	貸出期間
1	展示パネル「ダートの熱き戦い～ダートグレード導入から 20 年～」 「競馬場今昔物語～変わりゆく競馬場の風景～」	浦河町馬事資料館・新ひだか町博物館	7. 17～9. 21

(11) 資料の管理・保存

- ① 収蔵資料の燻蒸消毒による保存、整理等を行いました。
- ② 収集した図書・博物資料を資料管理情報システムに入力、管理しました。

(12) ワークショップ等普及イベント

工作を通じた馬に対する関心度の向上や、馬に対する愛情の深化等を目的として、各種イベントを実施しました。

① アニメ馬物語 3 部作の終日放映（馬の学び舎ミュージアム・ホール）

	イベント名	内容	実施日
1	アニメ馬物語	3 部作を自動再生で終日放映	4. 14～9. 30

② 第2・3回東京競馬イベント開催

ご家族向けの企画としてのワークショップ等を下表のとおり実施しました。

	イベント名	内容	実施日
1	ペーパークラフトでポニーを作ろう	在来馬の紙模型を製作	6.10
2	乗馬服で記念撮影をしよう	小学校低学年以下を対象に乗馬服姿で馬像と記念撮影	6.16 6.17

「乗馬センターとの連携イベント」としてスタンプラリーを下表のとおり実施しました。

	イベント名	内容	実施日
1	小岩井物産・Gate J. スタンプラリー	物産展での購入者を対象に博物館・乗馬センター間でスタンプラリーを開催	4.28 4.29 5.5 5.6
2	Gate J. スタンプラリー	博物館・乗馬センター間でスタンプラリーを開催	5.12 5.13 5.26 6.2 6.3 6.23 6.24

③ 「夏休み」特別企画

春季東京開催で好評を博した乗馬服で記念撮影会、武蔵野美術大学学生主催による『UMARTs 2018 うまからうまれるアート展』、ご家族向けワークショップ及び木製・紙製の馬の模型を作るイベント等を下表のとおり実施しました。

	イベント名	内容	実施日
1	馬像試乗（サラブレッド）&乗馬服で記念撮影をしよう	小学校低学年以下を対象に乗馬服姿で馬像騎乗・記念撮影	7.28
2	つくってウマれる！	武蔵野美術大学生が企画した各種ワークショップを開催	8.4 8.5
3	乗馬服で記念撮影をしよう	小学校低学年以下を対象に乗馬服姿で馬像と記念撮影	8.12 8.19 8.26 9.2 9.9 9.30
4	ウッドイクラフトを作ろう	競走馬の木製模型を製作	9.15 9.22
5	ペーパークラフトを作ろう	在来馬及び競走馬の木・紙模型を製作	9.16 9.17 9.23
6	馬の焼き物に絵付けをしよう	素焼きの馬に水性マーカーで絵付けを行うもの	9.24

④ 第4・5回東京競馬イベント開催

ご家族向けイベントを下表のとおり実施しました。

	イベント名	内容	実施日
1	親子でお馬さんを作ろう	在来馬及び競走馬の木・紙模型を製作	10.13 11.11
2	乗馬服で記念撮影をしよう	小学校低学年以下を対象に乗馬服姿で馬像と記念撮影	10.8 10.27 11.10 11.24
3	長瀬智之先生お絵かき教室	小学校低学年以下を対象に画家の長瀬智之先生が馬のお絵かきを指導	11.3 11.4 11.17 11.18
4	Gate J. Presents 岩手県小岩井農場・北海道伊達市物産展【牧家 Bocca】クイズラリー	物産展での購入者を対象に博物館・乗馬センター間でクイズラリーを開催	10.7 10.8 10.28

秋の『メジロ牧場の歴史展』及び『武豊騎手 JRA4000 勝記念展』と連動してフリーアナウンサー竹山マユミ氏及び担当学芸員のガイドツアーを下表のとおり開催しました。

	イベント名	内容	実施日
1	竹山マユミさんガイドツアー	メジロ牧場の歴史展を竹山マユミ氏が案内	10.7 10.14 10.28 11.11 11.25
2	学芸員ガイドツアー	メジロ牧場の歴史展を担当学芸員が案内 (11.10 は武豊騎手 JRA4000 勝記念展も担当学芸員が案内)	10.13 10.20 10.21 10.27 11.3 11.4 11.10 11.17 11.18 11.24

「メジロ牧場の歴史展」と連動して主戦騎手だった横山典弘騎手のトークショー及び写真撮影会、吉田豊騎手の写真撮影会を下表のとおり開催しました。

	イベント名	内容	実施日
1	横山典弘騎手・鈴木淑子トークショー	メジロ牧場所属馬の主戦ジョッキーだった横山典弘騎手のトークショーを開催	10.7
2	吉田豊騎手記念撮影会	メジロ牧場所属馬の主戦ジョッキーだった吉田豊騎手との写真撮影会	10.28
3	横山典弘騎手記念撮影会	メジロ牧場所属馬の主戦ジョッキーだった横山典弘騎手との写真撮影会	11.25

⑤ 団体見学プログラム

馬の学び舎ミュージアム・ホールの中型映像装置を活用した馬に関する講義及び乗馬センター見学等を内容とした「団体見学プログラム」を下表のとおり実施しました。

	団体名	人数	実施日
1	太子堂地区ごみ減量・リサイクル推進協議会	45	5.24
2	クラブツーリズム エコスタッフ交流会	40	5.30
3	東京外国語大学	12	5.30
4	日本セカンドライフ協会	15	8.25
5	府中ボランティアの会小学校	24	10.17
6	府中観光協会	34	10.24
7	かながわ健生クラブ	33	11.15
8	ヤマザキ学園	68	11.28
9	府中市観光ボランティアの会	36	12.12

2 案内業務及び入館者

総合案内所を始め館内にインストラクターを配置し、入館者に対する案内業務を行いました。

区分	開館日数	入館者数	1日平均入館者数	備考					
1月	0日	—	—	開催日	—	パークウインズ	—	平日	—
2月	0日	—	—	開催日	—	パークウインズ	—	平日	—
3月	0日	—	—	開催日	—	パークウインズ	—	平日	—
4月	10日	13,525	1,353	開催日	4日	パークウインズ	2日	平日	4日
5月	21日	18,859	898	開催日	8日	パークウインズ	—	平日	13日
6月	18日	10,369	576	開催日	8日	パークウインズ	—	平日	10日
7月	17日	4,824	284	開催日	—	パークウインズ	8日	平日	9日
8月	23日	6,561	285	開催日	—	パークウインズ	8日	平日	15日
9月	22日	4,438	202	開催日	—	パークウインズ	11日	平日	11日
10月	21日	19,024	906	開催日	9日	パークウインズ	—	平日	12日
11月	22日	21,731	988	開催日	8日	パークウインズ	—	平日	14日
12月	18日	7,120	396	開催日	—	パークウインズ	9日	平日	9日
30年計	172日	106,451	619	開催日	37日	パークウインズ	38日	平日	97日
29年計	222日	114,473	516	開催日	45日	パークウインズ	55日	平日	122日
対前年比	77.5%	93.0%	120.0%						

※平成29年11月27日～4月13日 改修工事のため臨時休館

※平成30年6月27日～7月6日 館内整備のため臨時休館

*1日最高入館者数

開催日 6,774人 11月25日 (ジャパンカップ競走当日)

パークウインズ日 1,439人 12月23日 (有馬記念競走当日)

祝・平日 (非開催日) 767人 11月23日 (勤労感謝の日)

*1日平均入館者数／総入館者数

開催日 1,970人 / 72,896人

パークウインズ日 431人 / 16,380人

祝・平日 (非開催日) 177人 / 17,175人

*教育団体等の見学者数

保育園	幼稚園	児童団体	小学校	中学校	高校 大学	特別支援 学校	一般団体	競馬関係
201	74	333	40	—	234	7	1,765	880

Ⅲ 競馬振興会館（Gate J.）の事業

1 Gate J. 新橋の事業

- ① 施設内の壁面等を活用したパネル展示等を行いました。

	展示期間	展示タイトル
1	H29. 9. 20～H30. 1. 22	ミニ展覧会「さまざまな競馬のかたち(パート2)」
2	H29. 12. 6～H30. 2. 5	第4回高谷義則作品展
3	1. 24～4. 30	ミニ展覧会「うまたび～競馬場への招待～(前期)」
4	2. 7～2. 26	写真展「氣 サラブレッド 2017」
5	2. 28～3. 26	JRA 競馬学校騎手課程卒業生作品展
6	5. 2～10. 8	ミニ展覧会「うまたび～競馬場への招待～(後期)」
7	10. 10～H31. 2. 上旬	ミニ展覧会「競馬場今昔物語 (前期)」
8	11. 19～11. 23	第5回競馬写真家グループ展 「彩 THOROUGHBRED 2018」
9	11. 21～12. 17	引退馬フォーラム展
10	12. 19～H31. 1. 28	第5回高谷義則作品展

- ② Gate J. 内スタジオにおける、中央競馬のG I 競走のレース検討会等のトークショーやグリーンチャンネルの放送番組「草野仁の Gate J. + (プラス)」の公開収録を開催しました。また、競馬場での出張イベント（在来馬保護チャリティーイベント）・JRA 競馬博物館等での出張イベントを計43回実施しました。
- ③ 大型モニター等を利用し、中央競馬中継や競馬情報番組を放映するとともに、馬の博物館等の施設紹介や展示の案内等を行いました。

2 Gate J. 梅田の事業

- ① 施設内の壁面を活用し、パネル展示を行いました。

	展示期間	展示タイトル
1	H29. 9. 23～H30. 1. 23	ミニ展覧会「馬具の歴史」
2	1. 6～ 1. 30	写真展「氣 サラブレッド 2017」
3	1. 27～5. 29	ミニ展覧会「さまざまな競馬のかたち(パート2)」
4	1. 27～ 6. 24 9. 15～12. 28	実物資料（馬具、蹄鉄、記念入場券）展示
5	3. 3～ 3. 27	J R A 競馬学校騎手課程卒業生作品展
6	6. 2～ 6. 24 9. 15～10, 9	ミニ展覧会「うまたび～競馬場への招待～(前期)」
7	10. 13～H31. 2 月中旬	ミニ展覧会「うまたび～競馬場への招待～(後期)」

- ② Gate J. 内において中央競馬のG I 競走のレース検討会等のトークショーに加え、競馬場における出張イベント（在来馬保護チャリティーイベント）を計4回実施しました。
- ③ 館内モニター等を利用し、中央競馬中継や競馬情報番組等を放映するとともに、馬の博物館等の施設の紹介等を行いました。

3 入館者

区分	Gate J. 新橋			Gate J. 梅田		
	開館日数	入館者数	1日平均	開館日数	入館者数	1日平均
1月	24日	11,285	470	16日	20,877	1,305
2月	25日	11,134	445	17日	18,179	1,069
3月	26日	11,924	459	17日	20,352	1,197
4月	25日	12,217	489	19日	25,864	1,361
5月	24日	12,281	512	18日	25,654	1,425
6月	26日	12,051	464	17日	18,904	1,112
7月	25日	11,351	454	18日	10,130	563
8月	27日	11,756	435	16日	8,744	547
9月	25日	10,555	422	16日	12,097	756
10月	27日	12,534	464	21日	24,961	1,189
11月	25日	12,740	510	17日	23,404	1,377
12月	23日	13,331	580	18日	27,762	1,542
30年計	302日	143,159	474	210日	236,928	1,128
29年計	302日	147,249	488	212日	271,732	1,282
前年比 (%)	100.0	97.2	97.1	99.1	87.2	88.0

※6月25日～9月11日 Gate J. 梅田はウインズ梅田 A館リフレッシュ工事に伴いA館（地下）を閉館し、B館のみで営業

*1日最高入館者数

Gate J. 新橋 975人 12月21日（ウマニティ主催「有馬記念検討会」当日）

Gate J. 梅田 2,767人 5月27日（日本ダービー当日）

IV 広報活動

1 馬の博物館

- ① 馬の博物館の商業フィルムを、JRA 競馬場のターフビジョン、ITV、グリーンチャンネル等において展示内容の紹介とともに放映しました。また、JRA 各施設、マスコミ、教育・文化関係機関、交通機関や観光案内所等にポスターやパンフレットを配布しました。
- ② 月刊誌「優駿」等 JRA 発行印刷物に展示案内を掲出しました。
- ③ 地元メディアに対して適時、情報提供を積極的に行うとともに、テレビ、新聞、雑誌等のメディア取材に対応しました。
- ④ ホームページ、Facebook 及び Twitter を活用し、最新情報・展示情報を随時更新するとともに施設紹介等の写真・動画配信を行うなど情報提供及び馬文化の普及を図りました。
- ⑤ 施設等案内リーフレット、オリジナルグッズ及びパンフレット等をイベント等の開催時に効果的に配布することにより、広報活動の一助としました。

2 JRA 競馬博物館

- ① インターネット広告、競馬雑誌、新聞折込広告、フジビューウオーク広告等を活用し、リニューアルオープン、メジロ牧場の歴史展及び武豊騎手 JRA4000 勝記念展を積極的に告知し、競馬ファンだけではなく広く一般の来館者の増加に努めました。
- ② 春のリニューアルオープン告知及び秋のメジロ牧場の歴史展告知のため、JRA 広報部の援助を得てスポーツ紙各紙を訪問しました。また、テレビ、ラジオ、新聞・雑誌等のメディア取材に積極的に対応しました。
- ③ リニューアルオープンに先立ちメディア向け内覧会を開催し、政府観光局をはじめ東京観光財団、新聞各社等、多くのメディア関係者に情報を発しました。その結果、NHK を始め放送メディア、新聞及びインターネット媒体で広くリニューアルが報道されました。
- ④ 月刊誌「優駿」等 JRA 発行印刷物に展示案内を掲出しました。
- ⑤ 展示・イベント案内を JRA 東京競馬場のターフビジョン、ITV、グリーンチャンネル等にて放映しました。
- ⑥ 東京競馬場内のインフォメーション及び各入場門、来賓受付、馬主協会受付において当館案内パンフレット及びイベントパンフレットを常置し、来館促進及びイベント告知を図りました。
- ⑦ 東京競馬場内外の博物館専用看板を有効に活用し、競馬場来場者等への博物館誘導を図りました。
- ⑧ ホームページの最新情報・展示情報を随時更新し、展示及びイベント開催告知を図りました。また、JRA 競馬博物館公式 Facebook にて適時、情報を発信しました。
- ⑨ インターネットミュージアムをはじめ、ネット媒体にも積極的に情報を掲載し、来館者の誘致に努めました。
- ⑩ オリジナルカレンダーを制作し、入館者に配布するとともに、報道関係者・府中市内の各種機関・競馬関係者等に配布しました。

3 Gate J. 新橋・梅田

- ① 施設等の案内リーフレット、オリジナルグッズ及びパンフレット等を Gate J. や JRA 競馬場等のイベント開催時に効果的に配布し、広報活動の一助としました。
- ② ホームページに最新のイベント情報等を随時更新するとともに Gate J. イベント等の動画配信を行うなど情報提供の充実を図りました。
- ③ 館内大型モニターを活用して、馬の博物館・競馬博物館の商業フィルム及び特別展の開催告知等を放映しました。
- ④ JRA 競馬場のターフビジョンや ITV、グリーンチャンネルにおいて、Gate J. 新橋・梅田の商業フィルムを放送しました。

V JRA 賞馬事文化賞候補作品の情報収集

JRA から業務委託を受けて、JRA 賞馬事文化賞の候補作品の情報収集及び選定補助業務を行いました。

VI 寄附金・募金の受入れ及び使用状況

1 受入れ状況

平成 30 年度においては、総額 4,592,437 円の寄附金を受入れました。
(別添資料)

2 使用状況

平成 30 年度においては、対州馬放牧施設の整備を図るため、公益社団法人日本馬事協会に対して 3,555,254 円の寄附を行いました。

VII 庶務

1 評議員に関する事項 (平成 30 年 12 月 31 日現在)

氏名	就任日	退任日
井上 謙吾	H25. 1. 4	
小笠原信夫	H25. 1. 4	H30. 10. 27 (死亡)
岡部 長忠	H25. 1. 4	
澤野由紀子	H25. 1. 4	
山崎 毅紀	H25. 1. 4	
川崎 泰彦	H28. 4. 4	
吉崎 一郎	H29. 3. 21	

2 役員等に関する事項 (平成 30 年 12 月 31 日現在)

(1) 役員

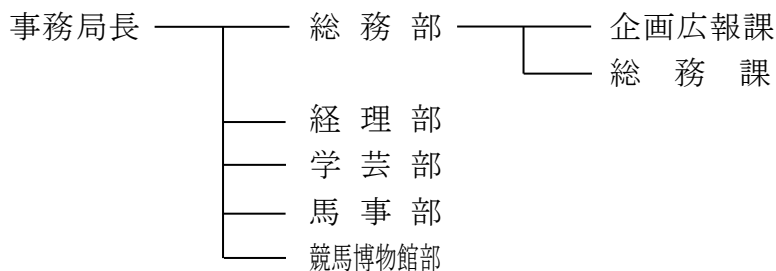
役職名	氏名	就任日	退任日	備考
理事長	小島 薫	H29. 3. 1		
専務理事	荒木喜一郎	H26. 9. 16		
理事	大井 俊雄	H28. 2. 25		非常勤
理事	栗田 晴夫	H28. 2. 25		非常勤
理事	末崎 真澄	H19. 10. 1	H30. 2. 23	非常勤
監事	平野 浩章	H29. 3. 21		非常勤
監事	石井 秀司	H30. 2. 23		非常勤
監事	奥 寛	H20. 4. 23	H30. 2. 23	非常勤

(2) 参与

氏名	就任日	備考
富岡 義雄	H26. 3. 1	非常勤
末崎 真澄	H30. 2. 24	非常勤

(3) 職員及び組織図

職員 21 名、嘱託 2 名で組織図は以下のとおりです。



3 評議員会及び理事会

(1) 評議員会

回数	開催日	議決事項等	評議員		議決の結果
			現在数	出席数	
1	2. 23	①平成 29 年度事業報告書について	7 名	6 名	全員賛成
		②平成 29 年度貸借対照表及び正味財産増減計算書等について	7 名	6 名	全員賛成
		③定款の一部改正について	7 名	6 名	全員賛成
		④任期満了に伴う理事及び監事の選任について	7 名	6 名	全員賛成
2	書面決議 6. 15	①評議員及び役員の報酬等の支給に関する規程の一部を第 1 号議案資料のとおり改正することについて	7 名	7 名	全員賛成
		②役員慰労金支給規程の一部を第 2 号議案資料のとおり改正することについて	7 名	7 名	全員賛成
3	12. 6	①平成 31 年度事業計画書について	6 名	5 名	全員賛成
		②平成 31 年度収支予算書について	6 名	5 名	全員賛成
		③理事及び監事の報酬等の総額について	6 名	5 名	全員賛成

(2) 理事会

回数	開催日	議決事項等	理事		議決の結果
			現在数	出席数	
1	2.7	①平成29年度事業報告書について	5名	5名	全員賛成
		②平成29年度貸借対照表及び正味財産増減計算書等について	5名	5名	全員賛成
		③定款の一部改正について	5名	5名	全員賛成
		④任期満了に伴う理事及び監事候補者の評議員会に対する推薦について	5名	5名	全員賛成
		⑤第1回評議員会の開催について(報告事項)	5名	5名	全員賛成
2	2.23	①理事長及び専務理事による職務の執行状況について			
		①任期満了に伴う理事長及び専務理事の選定について(報告事項)	4名	4名	全員賛成
3	書面決議 6.6	①日本中央競馬会からの競馬振興特別助成金の交付について			
		①「評議員及び役員報酬等の支給に関する規程」の一部を第1号議案資料(別添)のとおり改正することにつき、定款第25条(決議の省略)の方法により評議員に提案することについて	4名	4名	全員賛成
		②「役員慰労金支給規程」の一部を第2号議案資料(別添)のとおり改正することにつき、定款第25条(決議の省略)の方法により評議員に提案することについて	4名	4名	全員賛成
		①平成31年度事業計画書について	4名	4名	全員賛成
4	11.22	②平成31年度収支予算書について	4名	4名	全員賛成
		③理事及び監事の報酬等の総額について	4名	4名	全員賛成
		④第3回評議員会の開催について(報告事項)	4名	4名	全員賛成
		①理事長及び専務理事による職務の執行状況について			
		②一般会計予算の科目間流用について			

別添資料 寄附金・募金の受入れ状況

1 在来馬保護チャリティーイベント

実施日	実施場所	内容〔派遣馬〕	募金額 (円)
4.7～4.8	阪神 RC (桜花賞)	Gate J. Presents ミカン・ゆき	237,100
5.19～5.20	東京 RC (オークス)	Gate J. Presents ミカン・サンゴ	392,786
6.16	ウインズ新横浜	ウインズイベント ミカン・(ホワイトミニ)	9,500
7.21～7.22	中京 RC (中京記念)	Gate J. Presents ミカン・ゆき	199,506
10.20～10.21	東京 RC (京都・菊花賞)	Gate J. Presents ミカン・サンゴ	319,963
11.3	馬車道 (横浜市中区)	馬車道まつり ミカン・サンゴ	26,845
11.17～11.18	京都 RC (マイルCS)	Gate J. Presents ミカン・サンゴ	209,638
12.1	二子玉川ライズ	2018 動物感謝デー in JAPAN ミカン・(ホワイトミニ)	19,720
合計			1,415,058

2 在来馬保護チャリティー募金(馬の博物館設置)

1月～12月 合計 124,108円

3 その他の寄附金

(1) 在来馬種の保存

受入日	寄附金額 (円)
12.5	10,000
12.19	43,271
合計	53,271

(2) 博物資料購入

受入日	寄附金額 (円)
5.9	3,000,000
合計	3,000,000